

令和 7 年 10 月 26 日

公益社団法人神奈川県柔道整復師会
会長 齋藤 武久 様

事業部長 矢澤 正司
広報部長 小野 博道

横浜マラソン 2025 ケア・コンディショニングサービス ボランティア実施報告書

記

1. 実施日時

令和 7 年 10 月 25 日（日）

2. 実施場所

横浜みなとみらい 臨港パーク

3. 活動内容

横浜マラソン 2025 組織委員会より、昨年に引き続き「ケア・コンディショニングサービス」への協力依頼を受け、（公社）神奈川県柔道整復師会から以下の 6 名が参加しました。

【事業部】矢澤 正司 事業部長・八木 雅之 部員・二宮 嘉信 部員

【広報部】小野 博道 広報部長・山部 高雅 部員・八巻 優汰 部員

4. 概要

本年度は、本会のほか、（公社）神奈川県鍼灸師会、（公社）スパイラルテーピング協会の 3 団体により、ランナーのケア・コンディショニングルーム業務を共同で実施しました。

本大会は、フルマラソン（23,000 人）・7km ラン（4,500 人）・ファンラン（1,200 人）・ペアリレー（600 人）・湾岸ハイウェイラン（100 人）の以上 5 部門で、総勢約 29,000 人がランナーとして参加しました。

当日は朝から雨模様で気温も低く、昼頃に雨は止みましたが、終日肌寒いコンディションでした。ランナーにとっては走りやすい気温ではあったものの、冷えによる筋疲労や痙攣が目立ちました。

ケア・コンディショニングサービスは、ゴール付近の救護所奥にテント 2 張が設営されました。救護所には医師・看護師・救急救命士・救護ボランティアが常駐し、ゴール後に体調不良や外傷のあるランナーを救護班がトリアージしました。重症例（脱水・血圧低下・低体温症）は医師ブースへ、筋痙攣や運動器の不調はケア・コンディショニングブースへ誘導される体制が救護コーディネーターにより構築されました。

フルマラソン完走者が続々とゴールした 11 時過ぎ頃から搬送ランナーが増え、本サービス利用者は 60 名を超える、そのうち約 35 名を当会ブースが担当しました。主な訴えは下

腿部・大腿部の筋痙攣であり、ストレッチや軽度のマッサージによるケアを実施し、回復後にはセルフケア指導も行いました。また今回は、医師・看護師が対応するブースにも柔道整復師が呼ばれ、ストレッチやマッサージを施すなど、職種間での連携が実現しました。各医療職が互いの専門性を活かしてランナー支援を行えたことは、非常に有意義な活動であったと感じております。

今後もこの活動を継続し、柔道整復師にできることを広く発信し、他医療職や一般市民に認知してもらう良い機会として発展させていきたいと考えます。今後はさらに多くの会員にボランティア参加を呼びかけ、活動の輪を広げてまいります。

全行程は 15 時 30 分をもって終了いたしました。

以上ご報告申し上げます。

以上

